



- 1 私たちは、政策医療ならびに地域ニーズに応じた一般医療をおこないます。
- 2 私たちは、患者様の立場や権利を尊重し、患者様中心の医療をおこないます。
- 3 私たちは、良質で安全な医療を提供します。
- 4 私たちは、常に改革心を持ち、健全な経営をめざします。

2007 JULY

第4号

発 行: 国立病院機構 宇都宮病院 発行日: 平成 19年 7月 1日 発行責任: 沼 尾 利 郎

目

次

■「結核」のつぶやき ・・・・・・・・・・ 1	■職場紹介 · · · · · 5
■ 予防接種はできるだけ受けましょう! ····· 2	■学会報告 · · · · · · · · 6
■ くすりの知識 【3】 くすりの基本 ······ 3	■地域連携室だより・・・・・・・ 6
■ 看護部トピックス 看護の日イベント · · · · · 4	■外来診療担当医表 ······· 7

「結核」のつぶやき

診療部長 戸 田 正 夫

こんにちは。皆さんは「結核」と聞いてどんな印象を持たれますか? 昔の病気? 怖い病気でしょうか?

ご存じでしょうか。この4月から、「結核予防法」がなくなりました。「新感染症 法 |に統合されたのです。国の生物テロ対策を反映したものということですが、 後に述べるように、こんなおとなしい菌が、例えばら撒かれるようなことがあっ ても、「脅威」になるのか首をかしげたくなります。だって感染、発病するひとは ごく一部だし、いつ発病するかも分からない。しかもこの菌そこら中にいるんで すよ、すでに。脅かす訳ではないのですが、ほらあなたの隣のひともひょっとし たら....。



結核の患者数は年々減少しているとはいえ、なお毎年約30,000人の患者が新たに発生しています。本県でも年間200人 強の新規患者が最近でも発生しており、いまだに身近な感染症なのです。

歴史的にも、人類が関わりあった感染症のなかで、かなり古くからの歴史をもつのがこの結核です。エジプトのミイラの脊椎 から結核罹患の痕跡が見つかっており、わが国では6-7世紀の古墳時代に大陸より伝わったとされています。以来多くの歴 史上の「著名人」たちが煩わされてきました。近年でも、正岡子規、樋口一葉、滝廉太郎、石川啄木、また「風と共に去りぬ」でス カーレット・オハラを演じたヴィヴィアン・リー、いずれも結核で亡くなっています。またかつての米国大統領、ジョン・F・ケネディ がアジソン病(多くは副腎結核による)であったことも知られています。

結核は、人類の歴史と共に歩んで来たといっても過言ではないでしょう。結核は、耐性化さえしなければ、イメージほど、さし て恐ろしい感染症でもないことがわかります。<mark>但し、</mark>最低限の約束事さえ守ってもらえれば、ということです。

インフルエンザなどと比べれば、結核は遥かに感染力も、発病率も低いのです。例え結核菌に暴露しても、感染する宿主は 最大半数(3割くらいとも云われます)、その「感染」者の内(感染しなければ発病しません。発病とは異なります。因みに通常感 染者はひとに感染させず、発病者から感染するんです)すぐに(数年以内に)発病する(多くは一年以内)のは1割、何年も(何十 年たっても発病しうるのが結核のやっかいなところです)たってから発病するのは2割、合わせても3割くらいなのです。このこ とからも、結核は比較的「おとなしい」菌といえると思います。放っておけばほとんどが宿主を取り殺すようなエイズ(HIV)とは 異なります。恐らく感染していることも知らずに、発病しないで一生を終えるひともたくさんいると考えられます。自己主張は 極めて控えめで、むしろ人類と共生しようとすらしているのではないかとすら思えるほどです。

無論これまでの治療薬の開発を含めた、人類の着実な対策の積み重ねなど努力の賜で、確実に死亡率も、患者数も減少し ているという事実をふまえてのことではあります。しかしこれだけ努力しても根絶はできません。将来においても恐らく無理で しょう。「おとなしい」菌故に、どこに感染者が居るか、全ての把握は不可能なのです。どこにでも居ると考えて間違いありませ ん。そして何十年でもそっと息を潜めて住み着いているんです、多くの場合は何もせずに。でも油断をしているといつでもア ウトブレークの危険もいつもあるということでもあるのです。

かつてのジュリアーニ市長が、軽犯罪の取り締まりを徹底して今のかつて見なかったニューヨークの治安を確立したように、 結核も皆さんのほんの少しの注意で予防や早期診断・治療が可能かつ容易で、決して怖い病原体や疾病ではないのです。根 絶こそ困難でもちょっとした注意や努力で、さらに減少や予防ができます。

普段は結構御しやすい、「かわいらしい」ギズモ(註1)のような菌なのですが… でも、簡単な守るべき約束事をひとたび破 ると、怖いグレムリンにもなってしまうのです。何かひととして、基本的ななすべき所作を我々に諭し教えてくれているようにも 見えませんか。

この結核からの微かな声(警告)に耳を傾けてみてください。ともかく簡単なことです。皆さんの心掛けで結核は防げるので す。どうか次の約束を気に留めて、守ってください。繰り返します。結核は皆さんひとりひとりのほんの少しの努力で防げるの です。どうかご協力をお願いいたします。

結核と付き合う3つの約束

- 1つ 換気の悪い、不特定多数のいる密室空間にいかない、長居をしない。
- 咳が長引いたら、レントゲン写真をとってもらう、そして咳エチケット(註2)。
- もしもなったら、最後まで、抗結核薬をきっちりと忘れず飲み続ける。



- 計 1984年 ワーナー・ブラザース。スティーブン・スピルバーグ制作総指揮、ジョー・ダンテ監督の映画「グレムリン」の中の登場キャラクターで、モグワイという 架空の動物に、主人公の少年が名付けた名前が「ギズモ」。普段はかわいらしい外観の生き物ながら、ひとたび3つの約束「水にぬらさない、明るい光に当て ない、夜12時以降は絶対に食べ物を与えてはいけない」が破られると、分身として、醜い、凶悪なグレムリンが誕生、増殖し、過激な悪戯で街を破壊していく 。という至って寓話的ストーリーが展開される。
- 註2 「咳エチケット」とは、主に飛沫感染を対象とした標準感染予防策のひとつで。「咳またはくしゃみをする時は鼻や口を覆い、しぶきを封じ込めるためにティッ シュを使用すること。使用後のティッシュは最寄りのゴミ箱にすてること。痰やそれで汚染された物に接触した後は手指衛生を実行すること。」をいいます。 結核のような空気感染対策においてもある程度は意味はあると考えてもいいでしょう。但し互いにマスクをすること、発病している人となるべく接触を最小 限とすることも重要です。

予防接種はできるだけ 受けましょう!

小児科医長 影 山 さち子

このところ大学や高校での麻疹(はしか)の流行が話題になっています。東京や埼玉などの大学などで全 学休講の措置がとられるなど、社会的に大きな影響がでています。もともと麻疹は子どもの病気と考えられ ていましたが、今年の流行は15歳以上の患者数が多いことが問題になっています。

かつて子どもたちに脅威となっていたいくつかの感染症は、予防接種により克服されたかのように思われ ていましたが、実際には予防接種の接種率の低さや、自然流行の減少による免疫強化効果の低下などにより 、今回の麻疹の流行のような現象がおこる可能性があります。DPT(ジフテリア・百日せき・破傷風)三種混合 ワクチンによる副反応と考えられた脳症の報告や、MMR(おたふくかぜ・麻疹・風疹)ワクチンによる無菌性 髄膜炎発症などが問題になったときには、それぞれの接種率が低下するなどの影響がありました。しかしこう した問題があった後にはワクチンの改良は進んでいますし、添加物によるアレルギー反応に対する対策も行 われています。数少ない予防できる病気については、きちんと対応しておくことが必要ではないかと思いま す。

BCG、ポリオ、DPT1期・2期、MR(麻疹・風疹)混合(または麻疹、風疹単独)、日本脳炎(現在ワクチン改良 を考慮中)は予防接種法により定期接種として接種年齢が定められており、特に支障のない場合はぜひ受け ておきましょう。またインフルエンザ、水痘、おたふくかぜなどは任意接種とされていますが、集団生活には いる前や流行期前にはできるだけ受けておきたいものです。

少子化が心配され、産科医や小児科医不足がさらに子育てをためらわせているともいわれています。医 療機関の地域ごとの機能分化や集約化が検討されています。このような状況の中で、数少ない子どもたち を健全に育てていくことがますます必要とされています。病気の治療も大切ですが、その前に病気の予防と いう観点から、毎日の食事をきちんと摂らせ、精神的に安定した環境の中で子どもたちを育てていくことの 大切さもあらためて考えていただきたいと思います。

<予防接種外来のご案内>

■ 日時: 毎週火曜日の午後(14:00~15:00)

■ 予約: 希望する前週の木曜日までに小児科外来に予約してください(TEL可)

■ 種類: BCG、DPT、MR混合、M単独、R単独、水痘(みずぼうそう)、 おたふくかぜ、インフルエンザ、DTなど



護師募集



常勤看護師(夜勤のできる方) 新卒者、既卒者でブランクのある方も研修があり安心です。

お問い合わせ 月~金曜日 8:30~17:00 TEL 028-673-2111 (人事係へ)



シリーズ くすりの知識【3】



くすりの基本

副薬剤科長 糸 井 重 勝

薬は身近にありながら、なかなか「理解」をすることが難しいものなのではないでしょうか。「アスピリン」=「解熱・鎮 痛剤」というだけなら、暗記すればすむことです。しかし少量では「血栓予防」に使用されています。

臨床では、患者さん個々の状態に合わせて薬の種類や組み合わせや、用法や用量が選択されます。もちろん処方するのは 医師ですし、調剤や薬の管理は薬剤師の業務であることは間違いありません。でもそうした「なぜ」を理解しなければ、よりよ い「くすりの知識」を得られないのではないでしょうか。

今回は「薬が効く仕組み」、「相互作用」、「薬のいろいろな形」について書きます。

薬が効く什組み

薬の一生は、一般的に口の中から入り、胃や腸で溶けて吸収され血液に入って効果を発揮し、肝臓で一部は分解さ れ、残りはまた血液に戻りまた肝臓で分解を繰り返します。さらに腎臓から尿の中に排泄されます。

血中で一番高い薬の濃度を「最高血中薬物濃度」といい、その濃度になる時間を「最高血中薬物濃度到達時間」と いい効果のスピードを知る目安になります。その後、濃度が半分に減るまでの時間を「半減期」といいます。「半減期 |が長いほど効果が長く続くと考えられます。薬の服用回数は、この「半減期 |が関係しています。

作 相 互 用

相互作用とは2種類以上の薬を同時に使用した場合、薬の組み合わせによって作用が強く出たり、逆に効果がなく なったり、副作用が出やすくなったりすることをいいます。薬理作用によるもの、蛋白結合の影響によるもの、薬物代 謝酵素よるもの。

みなさんがご存知の納豆とワーファリン(抗凝固剤)では、納豆の中のビタミンKとワーワァリンが拮抗して効果が 低下したり、グレープフルーツジュースの苦味成分がカルシウム拮抗剤(降圧薬)の代謝酵素を阻害して血圧降下が 強く現れたり、セント・ジョーンズ・ワースト(ハーブ)の成分がテオフィリン(気管支拡張剤)やワーファリンなどの代謝 酵素を誘導し薬の効果が弱くなるなど、食品による影響もあります。

薬のいろいろな形

薬には内服、外用、注射薬、輸液などいろいろな形があります。形にはそれぞれ狙いがあり、患者さんの年齢や状 態に応じて選ばれます。

内用薬は口から飲み体全体を巡り作用をします。錠剤・カプセル剤・散剤・細粒剤・顆粒剤・水剤・ドライシロップ・舌下錠・ 口内崩壊錠などがあります。

外用剤は効かせたい場所に直接投与するので、飲み薬よりも効き目が早く副作用が少ないのが特徴です。点眼剤・ 坐剤・塗り薬・湿布剤・吸入剤・点鼻薬・点耳薬・トローチなどがあります。

注射薬は注射針やカテーテルを使って直接体の中に投与されます。「吸収」という段階を飛ばすため、効き目は速 攻で確実です。しかし、一方で投与を間違えば、危険な薬です。

投与法は「皮内注」「皮下注」「筋注」「静注」「点滴静注」「動注」など様々で薬や目的によって使い分けます。アンプル ·バイアル·ボトルなどがあります。

輸液は生きていくために体に必要な成分を補給するためのもので、糖液・電解質液・脂肪乳液・アミノ酸輸液などが あります。

患者さんにどんな薬が使用されているのかはもちろん、疾患のどの部分に、どんな働きをして「効く」のかを「考える」ことによ り「薬の知識」を得て、そして「薬の知識」を基にしてチーム医療に貢献しようではありませんか。

専門外来開設のご案内

患者様のご要望にお応えするため、この9月から下記の2科の外来診療が始まります。

■ 眼科: 毎週金曜日 午前9時~12時

■ 皮膚科: 毎週火曜日 午後1時30分~4時30分(月曜午後の栗山外来はそのまま)

詳細は後日改めて掲示や病院ホームページなどでご案内いたします。

看護の日イベント

看護師長 井口栄子



5月12日はナイチンゲールの生誕を記念して、全国各地の病院で記念イベントが行われます。当院も5月11日(金)に「看護の日イベント」を実施しました。

当院は約20年の間に名称が3回変わっています。療養所時代が長く、似たような名前の病院があるなかで、当院を知って頂くための方法は、と常に考えております。

患者様以外の一般の人の声を聴き、質問や不安に答えていく ことも、病院を知っていただく一つの方法と考え院外での看護 の日イベントを企画しました。企画は看護部行事委員会が中心 となって行いました。

場所は大型スーパーマーケットのヨークベニマル(御幸ケ原店)です。宇都宮環状線に面しており、周辺には学校・団地・大型

飲食店が立ち並び、人の流れも多く、病院からは車で数分の所にあります。

PRの方法としては、ポスターの他に、入院中の子供達が書いた絵をスキャナーで取り込んだチラシを病院周辺に配布しました。イベント当日は、病院名入りのメッセージカードを入れたティシュペーパーやあめ、フーセンはもちろんのこと、病院の四季の草花の写真をしおりにしたものなど、担当者が工夫した自信作を揃えました。

開店と同時にイベント開始、300枚用意したチラシは午前中になくなり嬉しい事態となりました。午後は名前入りあめの助けを借りて呼び込みにがんばりました。参加者の意見を聞くためのアンケート用紙を配布しました。アンケートへの質問事項は、(印字都宮病院を利用したことがありますか、(月看護の日をご存じでしたか、(火本日のようなイベントをこれからも期待しますか、(火イベント内容はどんなものがよいですか、など当院に関する率直なご意見となる内容にしました。アンケート用紙は50枚用意し、相談コーナーや測定コーナーなどに参加してくださった50人の方々から意見を頂くことができました。その結果、質問印では50名中33名は当院を利用したことがなく、質問何では「いいえ」が39名と多数でした。回答者が一般の方々なので知名度が低いのかも知れませんが、地域の人々にはまだまだ看護の日は知られていないことがよくわかりました。

イベント内容は、相談コーナー、測定コーナー、実技コーナーに分かれ各職種が自分の専門分野を担当しました。相談コーナーには内科医師1名、歯科医師1名、ケースワーカー1名、栄養士1名が健康相談・介護相談・栄養相談を担当し、思春期相談員の資格を持つ看護師2名が思春期・育児相談を担当しました。

測定コーナーでは身長・体重・血圧・体脂肪を測定し、その結果を持ち健康相談へと回るように声かけをしました。実技コーナーでは歯の磨き方・車イスでの移動移乗を体験できるようにしました。当日は看護師 1 5名の他、会場への荷物の運搬に事務職3名の協力と、フーセン用のガスの準備、院内の会場への案内、生け花など職員の協力も十分でした。

母の日の2日前ということもあり、幅広い年齢のお客様が来店されていました。その中でも子供連れのお母さんはほとんどの方がイベント会場へと足をのばしてくださいました。

子供を膝にのせ、育児相談と歯磨きの指導を受けていくというのが1つのコースになっていました。参加のべ人数は約150名ほどでした。

院外での実施には、まず会場の手配とその会場を提供してくださるヨークベニマルさんにも利点がなければと考えたとき不安はありました。しかしイベント終了時に店長さんから「来年と言わず、いつでも使って下さい」という言葉に不安は一掃されました。

宇都宮病院は今後さらに、保健指導や講演、研修、イベントなどを企画し、地域住民とのコミュニケーションを築いていくことが重要だと考えています。職員が一丸となり、地域医療のために良質の医療を提供する病院であることをPRしていきたいと思います。

看護部Information

ふれあい体験の日

看護の心をみんなの心にあなたも1日看護を

体験してみませんか?

※中学生以上の方を対象にしています

- ■日 時 平成19年8月1日(水)
- ■場 所 国立病院機構 宇都宮病院
- 内 容 病院内の見学 病棟での看護体験
 - 私の体験談(看護師)
- ■参加方法 1. 看護師長に直接申し込んで下さい
 - 2. 往復はがきに【看護体験参加希望】と 書いて投函して下さい(7月10日締切)

宛先 宇都宮市下岡本町2160 国立病院機構 宇都宮病院 看護部

■お問合せ TEL 028-673-2111

職場紹介

東 6 病 棟

看護師長 中田立子

当病棟は平成19年4月、糖尿病ほか慢性疾患の病棟として開棟しました。

高齢で慢性疾患のある患者様の入院生活は、長年生きてこられたそれぞれの今があり、本当に個別性のある関わり方が必要な病棟です。幸い、当病棟は4月開棟より慢性期病棟としての人員配置がなされており、経験豊かなメンバーがそろっています。

今や国民病ともいわれる糖尿病予防のための生活習慣指導、病状回復のための援助、そして、残された機能を生かし維持できるような援助をこころがけ、看護メンバー人ひとりの経験がよりよい看護ケアへと生かせるよう努めながら頑張っています。人間関係の中で患者様たちの人生経験にふれながら教えて頂くことも多い病棟です。

地域連携室・ケースワーカーとの連携、ご家族の方との連携も欠かせません。ご家族の面会で患者様の表情が豊かになり、身近な方とのふれあいが本当に大切なことなのだなぁと感じています。毎月第1~4水曜日には糖尿病学習会を行っています。また、慢性呼吸器疾患では、呼吸体操を生活に取り入れて親しんでいただけるよう工夫していきたいと考えています。



糖尿病学習会

場所:栄養相談室 / 時間:9:00~9:30

第1水曜 (栄養士) 糖尿病と食事 交換等の使い方

第2水曜 (看護師) 糖尿病と日常生活

第3水曜 (栄養士) 糖尿病と食事 食事療法の基本

第4水曜 (医師)糖尿病の治療

糖尿病ビデオ学習会

【毎日】

場所:東6病棟、食堂 / 時間:16:00~16:40



職場紹介 手術室

看護師長 神山淳子

手術室は中央廊下沿いにあります。年間600件以上の手術が行なわれており、整形外科は主に人工関節置換術、外科は主に内視鏡を用いた胃、腸、胆のう、肺の手術を行なっています。その手術室を支えているのが8名の看護師です。昨年久々に新卒看護師が配置になり若干若返りましたが、大部分はベテラン揃いです。患者

様にとって手術を受けることは大きな不安が伴いますので、その不安を少しでも軽減できればと、看護師が術前術後に病室訪問を行なっています。更に昨年からは麻酔科管理下で手術をされる患者様を対象に、手術室看護師の担当カードを配布しております。今後も、手術室における安全と安楽を図るため努力をして行きたいと考えております。お気づきの点がありましたら是非ご意見をお聞かせ下さい。また手術室に御用がある場合は中央材料室(売店前)のチャイムでお知らせ下さい。

当院では、外来患者さまのご案内、院内外の環境整備(清掃・除草等)などの病院ボランティアをしていただける方を随時、募集しております。あなたのやさしさをお待ちしております。

問い合わせ先 管理課まで(内線:141)



第32回日本超音波検査学会

日本超音波検査学会とは、検査技師・放射線技師の他、超音波検査に携 わる技術者の学問および技能の研究と知識の交流を目的とした、会員数 約13,000名の学術団体です。

今回は、閉塞性黄疸を呈した結核性腹部リンパ節炎の症例報告を行い ました。閉塞性黄疸は通常、結石や腫瘍による胆道系の途絶に伴いますが 、今回の発表は結核性の膵鈎部近傍リンパ節腫大のための外圧迫による 黄疸で、リンパ節炎としては巨大なものであった2つの症例を発表しました 。結核性の膿瘍型は頚部の場合でも、他のリンパ節炎に比較し大きく炎症 性の癒着も伴いますので、痛みも訴えるようです。

今回の学会テーマは「基礎から始まる無限の可能性」という、超音波の 基礎的な知識、技術を理解することにより、スキルアップや新技術にも対応

生理機能検査室主任 南 雲

功

できる可能性を広げていこうというものでしたが、貴重な症例報告も多数あり、大変参考になりました。当院生理検査担当の 永井技師も各会場を積極的にまわっていました。今後とも学会参加を通して活性化をはかりながら、当院における医療の質の 向上と、経営の健全化に微力ながらも貢献して行こうと考えています。

地域医療連携室だより

日頃より連携室業務に関しまして、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます

連携室は、今年度から沼尾新室長のもとケースワーカーの宇梶が5月 から加わり総勢5人体制となりました。

患者様の医療福祉相談業務の充実と、地域の医療機関との益々の連 携強化をになっていきたいと、一同はりきって居ります。

皆様からご意見・ご要望を是非お寄せ下さいますよう、宜しくお願い申 し上げます。



開催決定!! ドナルド・アピアランス 2007

今年もドナルドが遊びに来ます!みんなで会いに来てくださいね☆

■ 日時:平成19年10月17日(水) ■ 場所:当院外来ロビー

■ 時間: 17時15分~18時15分



編集後記

昨年、『わかあゆ』が創刊され、早1年が経とうとしています。病気のことや 病院内の各部署の紹介、経営状況、研修報告、イベント情報等取り上げて きました。これから先も、たくさんの情報を提供していきたいと考えており ます。どうぞご期待ください。

副看護部長 安里 磨智子



表紙撮影:東6 中田立子

外来診療担当医表

平成19年7月1日以降

診療科名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
総合診療科(初診)					
内 科	戸田 正夫	戸田 正夫	沼尾 利郎	岡田 壮令	沼尾 利郎
外 科	富沢 健二	富沢 健二	小川 敦	小川 敦	増田 典弘
糖尿病代謝内分泌科	栗山源慎	森 豊	森豊	栗山源慎	石井 博尚
(皮膚科·月曜午後)	栗山源慎	森豊	森豊		
神経内科	伊藤雅史			椎葉・千恵	
消化器内科	内園まり子	菅谷 洋子	藤井陽一朗	小嶋和夫	世谷 一一世子
循環器內科		箕田紳一郎(第2·4)	伊藤 致		第田紳一郎
腎 臓 内 科 (午後)[予約制]				岡田和久(第2·4)	
呼吸器科再	岡田 壮令	沼尾 利郎	戸田 正夫	降籏 友恵	鹿島 隆一
アレルギー外来 午 後	戸田(隔週)		戸田(隔週)		
小児科生	Ť				
受付(午後) 14:00~16:00	<u>z</u> Z	予 防 接 種 (小児)[予約制]		子供養育相談ルーム [予約制](第2·4)	
小児アレルギー外来 (午後)[予約制]				中野俊至(第1·3)	
小児神経外来(午後)	奥野 章(第3)				
午前2	沙 増田 典弘	伊藤 知和	増田 典弘	増田 典弘	伊藤 知和
外 科 午後1	診 富沢 健二	富沢 健二	小川 敦	小川 敦	小川 敦(隔週) 富沢健二(隔週)
整形外科	田中 孝昭	真島 敬介	飯田毅博(第1)田中孝昭(第2)	菊地 隆宏	熊谷 吉夫
金 ル バ 代 2 章	真島 敬介		真島敬介(第3·5) 菊地隆宏(第4)		菊地 隆宏
リウマチ科			松葉 健(第2) 熊谷吉夫(第1·3·5) 田中孝昭(第4)		
リハビリテーション科			菊地 隆宏	菊地 隆宏	菊地 隆宏
装 具 外 来	田中孝昭				菊地 隆宏
耳鼻咽喉科(午後)		添田 弘			
歯		渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	
禁煙外来(保険外診療) 午 後	戸田 正夫		戸田 正夫		沼尾 利郎

病院紹介

- 外来診療受付時間 8:30~11:00 外科は、午後も診療を行っております(午後の診療受付時間 14:00~16:00)
- 月曜日午後の糖尿病代謝内分泌科は、入院及び外来他科からの依頼患者さまに対する 皮膚科領域の診療を行います。
- 耳鼻咽喉科、歯科に関しましては入院患者さまのみの診療となります。
- 地域医療連携室 TEL 028-673-2374(直通) FAX 028-673-1961(直通) 担当 永山悦子(ケースワーカー)、宇梶多恵(ケースワーカー)



〒329-1193 栃木県宇都宮市下岡本町2160 TEL 028-673-2111 FAX 028-673-6148 http://www.hosp.go.jp/~utsuno/